
炎の紋章 2

いかだんす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

炎の紋章2

【Nコード】

N4074C

【作者名】

いかだんす

【あらすじ】

カイの前にあらわれた未知なる敵そして・・・

2話 ドラゴンロード（前書き）

さあ、2話になりました。初めは自分の小説を詠んでいただけるか不安でしたが、多数の方に読んでいただき、感謝、感激です。本当にありがとうございます！尚、御感想、ご意見や批判、アイデア、などがございましたら私事情により、いかだんすのメッセージコーナーにおねがいします。お手数ですがよろしくおねがいします。

2話 ドラゴンロード

カイが何気なく外に目をやるとさっきまで何ともなかった草原が真っ赤にもえていた。カイはたまらず外に飛び出した。すると炎の中からこつちにむかつてあるいてくる。

カイ

「ベルか？だいじょう

ぶだっ・・・

そいつは、

いきなり攻撃してきた。??? 「ファイヤークロー」

カイの目の前にいきなり巨大な何かがあらわれ、
カイは20m吹き飛ばされた。

「熱！！なんだあいつは?!」

はじめて見るそいつに動揺をかくせないカイ。

????

「ファイ

ヤーブレス」

また巨大な何かがあらわれ、

カイめがけてとんできた。

カイ

「さっきのであれだけ、

ダメージ受けたんだ、こいつまでくらったらヤバイ!!

直感的にそう感じたカイは、左側に避けた。

ドン!!

「きやつ」

何か

にぶつかった・・・ 人・・・少女だ。

????

「ごめんなさい、ベルドット

から、救援メールがおくれてきたから、来てみたんだけど、少し遅かったみたいですね。あなたは？私フィルっていうんですけど、緑髪の子みませんでした？

カイ

「さっきまで一緒にいたんだけど・・・ってま
ずは、この状況をなんとかしないと！

フィル

「まあ、見ててくだ

さいよ。

フィルという少

女はそういつと口笛をふいた。

ばさばさばさ・・・

！？なんだこいつ・・・

フィル

「この子、翼竜、いわ

ゆるドラゴンですね。

カイは初めて見るドラゴンに不思議さを感じた。 体は赤く手足に生えた鋭い爪に金色に輝く翼に緑色の眼その眼は威厳に満ちあふれている。 一見孤高にみえるが、実際は忠実で賢い神聖な生きものなのだ。 このドラゴンに乗って戦う騎士のことをドラゴンロードという。 つまりフィルはドラゴンロードなのだ

ドラゴンロードの弱点

フィル

「まあ、見ててくださいよ。」

向うで暴れてる人を縛いてくるんで（＾Ｏ＾）

フィルはそういうと、ドラゴンにまたがってとびさつていった。

カイ

「縛くって・・・あいつ一人で大丈夫なのか？相手はたぶん人だろうけど、火を飛ばしてくるからな・・・」

カイが茫然としてると後ろから声がした。

「カイさん」

ベ

ルだった。

カイ

「ベルが大丈夫なのか？」

ベル

「私は大丈夫だけど、カイ

さんは？怪我なかった？？」

カイ

「怪我は、なかったけど、

変な術を使うやつに襲われた・・・あと、ドラゴンロードのフィルって子がベルのことを探してたけど・・・

それを聞いたベルはしまったと言うような顔をしていた。

ベル

「カイさん！その子もしかして一人でいつちやった？！」

カイ

「うん・・・相手がやばそうだったから止めようとおもってたんだけど・・・」

ベル

「止めなかったの？！ そんな・・・相手は『ファイヤーファイター』あの子が一人で戦える相手じゃないのに！！」

ファイヤーファイター??

ベル

「そう今は詳しく話してる暇はないけど、簡単に言うとファイヤーファイターは火を飛ばして攻撃してくるの、そして、火の攻撃は空を飛ぶドラゴンには、最も有効なの！」

カイ

「っていうことは、

やばくないか？勝てないってことだろ？あの子あんなに自身たつぷりだったのに！」

ベル

「自身過剰なの！」

二人は走

りだした・・・ただフィルが無事なのを願って、だが二人ともきがついてはなかった、二人のあとを付けている怪しい影には・・・

4話 影（前書き）

ここまで自分の話を読んで頂けるとは、思ってもいませんでした。
ありがとうございます！ こんな自分の作品で満足頂けたら幸いです。

次回は一応5回目ということでキャラクターのプロフィールをつけようと思います

4話 影

そのころ、

フ

アイヤーファイター 「お、おまえなんなんだ？？なぜ、私の炎がきかない！？ くそっ！ファイヤープレス！ファイヤークロー！！ファイヤーブレイズ！！

ファイヤーファイターのこえに呼応して、つぎつぎに出てくる炎。しかし・・・

フィル

「何これで終わり？

そこには、きず一つ付いていないフィルの姿があった。

ファイヤーファイタ

「なぜだ、私の炎はおまえには、最適なはず・・・なぜ・・・！
フィルの槍がファイヤーファイターの胸を貫く

フィル

「悪いけどあんた弱すぎ。

そんな初級術が私に通用するわけないじゃん？

ファイヤーファイター は、笑いだした。

なにがおかしいのかは自分でもわからなかった。その姿をみていたフィルは蔑む様に聞いた。

フィル

「あんた、人の時計を盗

んだんだって消えるまえにかえしてもらおうか

ファイヤーファイター 「ははっ時計だって？しらね

えな！私は主人からこの辺を焼き払うようにいわれただけだよ！

お、おまえらこそ・・・俺たち逆らってのうのと暮らせると・・・

お、お、もうなよ・・・す、すいませんネルソンさん・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・

どどん！！！！！！

！！！！！！！！！！

ファイヤ

ーファイターはそこまで言うとは爆発した。

彼らは炎を使えるかわりに体のなかに爆発物がうめこまれている

のだ命が終わりに近づくと遺体を残さず爆発これがファイヤーファイターの運命だ
フィルは彼

の着ていた衣服の破片を調べてみた。
嫌な予感が彼女の胸を過ったからだ。

ネルソンって、まさか・・・

各地を旅している彼女には思い当たる節があつた

慎重に裏向きにしてみる・・・ネルソンに

赤いシーフを着たファイヤーファイター、爆発。

ベル

「フィル!!」

彼女は慌てて衣服の破片をしまった。

ベル

「フィル!大丈夫だった?? 怪我なかった?! あいつ

は・・・ファイヤーファイターは?

フィル

「ベル・・・あいつ弱すぎ。

瞬殺だったよでも・・・

でも?どうしたの?

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ベルの顔色がか

わった。ベルもネルソンという人を知っていたのだろう。

しかし二人は気がつかなかった。とおくでこの

会話を聞いている影には・・・

5話 ベルの決意新たな始まり

一夜があけた朝

フィルは朝早

く仕事があるといつて大空へ飛び立った。

ベル

ふーなんか疲れちゃった・

・・・カイさん昨日はごめんね・・・

カイ

？何が？？

ベル

何がって・・・

ひっぱり回しちゃったことと、あと時計のこと・・・

カイ

ああ、まあ、お

かげでいい体験ができたよ笑

時計もなんとかなるし

時計か・・・

ベル

そう・・・よかった〜じゃあ

これから・・・

カイ

じゃあ、俺もそろそろ出るよ！本当にありがとう！！

ベル

えっ？！・・・もういつちゃうの？

ベルは彼はしばらくここにいてくれるものだとおもっていたから、一瞬意味がわからなかった。

そのあとに浮かんできたのは、彼がここにきてから、ずっと聞きたかったことだ。

ベル

あ

のさ、カイさんて旅しているんだよね？

カイ

旅・・・放浪かな？笑

カイは笑ったがベルは真剣だった。

ベルは、自分の顔が赤くなっていくのがわかった。本当はこんなこというキャラじゃないのにも

し迷惑じゃなかったら

カイ

何？届け物？

固唾を飲むそして・・・

もし迷惑じゃな

かったら、あたしもつれてってもらえないかな？

カイ

・・・・・・

・・・

ベル

あ、

邪魔だったらいいんだよ

カイ

・・・・・・何で？

ベル

え・・・・・・

予想もしなかった返答ベルは戸

惑った。

カイ

まあ・・・いいか！ いいよ！ついてきたいならこいよ！

ベル

え・・・いいの？ ありがとう！！

・・・・・・

・・・・・・
ったバナラの地をあとにした。 彼女が旅に出る理由はまたいつか
かたるとしよう・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4074c/>

炎の紋章 2

2010年11月17日15時20分発行